

**2010年
全日本選手権フォーミュラ・ニッポン**

**MEDIA
INFORMATION**

2010年3月7日

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

 **NINKI-ICHI
人気酒造**

2010年フォーミュラ・ニッポンのみどころ ①

■2009年シーズンレビュー

『日本一速い男』の称号を争う全日本選手権フォーミュラ・ニッポンは、2009年に新たに投入された『Swift FN09』と『ホンダ&トヨタ製新型エンジン』を得て、その称号を争うのに相応しい圧倒的な性能アップを実現した。

車体はダウンフォースをFN06に対し大幅に引き上げコーナリングスピードを向上。エンジンはホンダ、トヨタ両メーカーが威信を賭けて開発したプランニューV8 3,4リッター、600馬力超を投入。世界で同クラスのフォーミュラ トップレベルへと飛躍的な性能向上を果たしたマシン13台で争われたシリーズはトップ3を外国人に独占され、オーバーテイクシステムを使いこなした小暮卓史選手が日本人ドライバー最上位のシリーズ4位に終わるといふ、無念のシリーズになった。

■2010年シーズンプレビュー

昨年チャンピオンがチーム移籍、ホンダ陣営で内戦勃発か!!

ロイック・デュバル選手とナカジマ・レーシングのコンビネーションで昨年のタイトルを獲得したホンダ陣営はシーズンオフのエンジン開発で更なる熟成を図り確実にポテンシャルが上がっていると考えられる。陣容もドライバー移籍&名門チーム参戦で大幅な体質アップが図られており、タイトル維持に着実な施策を打っている。

昨年圧倒的な強さで2002年以來の栄光をナカジマ・レーシングにもたらしたロイック・デュバル選手はドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシングに移籍、伊沢拓也選手とペアを組む。チームはここ数年チャンピオン争いに絡めず、チャンピオン選手獲得という大幅な体制強化策に踏み切った。この戦略が吉と出るか?村岡潔監督が打った大勝負の結末に注目。

一方のナカジマ・レーシングは昨年の全日本F3 Nクラスチャンピオン、山本尚貴選手を中嶋悟監督が大抜擢、小暮卓史選手とともにチームタイトル維持とドライバータイトル奪取を狙う。

新規参戦のモチュール・チーム・無限の参戦は他チームにとっては脅威の存在となるだろう。チームは他カテゴリーで好成績を収め、ホンダ車のチューニングパーツでも名を馳せた名門。ドライバー井出有治選手の体制で満を持しての参戦となる。

若手育成を目的に結成されたエイチ・エフ・ディー・ピー・レーシングは、昨年ルーキー・オブ・ザ・イヤーを獲得した塚越広大選手を引き続き起用チーム、ドライバー丸丸となって初優勝を目指す。

■意地の名門復権争い、トヨタ軍団の強烈巻き返し!!

一方の雄、トヨタも精力的。エンジン開発専用テストカーを積極的に走らせ雪辱を期しての開発作業が続いている。

トヨタ軍団は、名門チームが復権を狙って虎視眈々と体制強化を図っている。チャンピオンタイトルを失い、名門の危機に瀕しているチーム・インバルは今、最も活きの良い若手、平手晃平選手がエースチームに昇格、またJ・P・オリベイラ選手が全日本選手権フォーミュラ・ニッポンに復活参戦、星野イズムを継承すれば台風の目となるだろう。

もう一つの名門、チーム・ルマンは石浦宏明選手が参戦、ペアを組むのはドライバーオーディションの試練を勝ち抜いた日本育ちのイタリアン、ケイ・コッツォリーノ選手。育成カテゴリーであるFCJ時代から日本のサーキットを走り込んでおり、新人とはいえ侮れない実力の持ち主だ。

デリツェフォリエ・セルモ・インギングは新スポンサーを獲得、ドライバーもTDP(トヨタ ヤングドライバーズ プログラム) F3のサラブレッド井口卓人選手を起用、フレッシュな体制で頂点取りを目指す。

ペトロナス・チーム・トムスはドライバーラインナップは変更せずアンドレ・ロッター選手と大嶋和也選手で参戦。昨年獲得出来なかったタイトル奪取を狙い、更にトヨタ陣営のエースチーム確立を目指す。

トヨタ陣営から新規チームが参戦。ケーシーエムジーは全日本F3選手権で素晴らしい実績を挙げており、侮れない底力が有る。ドライバーは平中克幸選手での参戦だ。

ドライバー達が『日本一速い男』の称号を争い、エンジン争いは『ホンダ』対『トヨタ』の構図の中、意地と名誉を賭けての、タイトル争いが見どころとなるだろう。

2010年フォーミュラ・ニッポンのみどころ ②

■レースフォーマット変更によりトップ争いは新たなステージへ

予測不可能な天候という要素も加わり激しい優勝争い、表彰台争いが行われた09年最終戦。チェッカーフラッグが振られるまで常に目の離せない素晴らしいレース展開となりました。しかしその様な最終戦に、「チャンピオン争い」という熱い要素が加わるとしたら、どんなに興味深いレース、更にはシーズン展開となっていたでしょうか。

JRPでは昨シーズンを振り返り、シーズン全体のレース展開について再考。新たに3つの変化を加え「最終戦まで続く緊張感」を皆様に提供出来る事となりました。

①スプリント化したレース距離

レース戦略に絶大な影響を与えるレース距離。今シーズンはこのレース距離設定について見直しを行いました。各主催者との連携により決定された200km、220km、230km、250kmというそれぞれのレース距離設定は昨年と比べてシーズントータルで短縮され、更にはタイヤ交換義務付けの有無をも加えることにより、「スプリント化がもたらす瞬間頭脳合戦」の様相を向上させ、各レースにおいて最後まで目の離せないレース展開となる事でしょう。

②日曜予選・決勝方式

前述の「瞬間頭脳合戦」に、さらに拍車をかける2つ目の変化点、「日曜予選・決勝方式」。通常の土曜日予選、日曜決勝方式に比べ、決勝までの時間が極端に短くなることから、各チーム、セッティング変更による確認作業時間が減少、もし予選順位が下位に沈めば、決勝に向け大きな賭けに出る決断を迫られることとなります。

ドライバーとチームの一体感。たった1日の中で1つのミスも許されない「全てのスプリント要素」を制した勝者を、皆様はドライバー、チームと共に、留まることを知らない緊張感をもって目撃するはずです。

大会	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	FSC ※1
日程	4月17日(土) ~18日(日)	5月22日(土) ~23日(日)	7月17日(土) ~18日(日)	8月7日(土) ~8日(日)	9月25日(土) ~26日(日)	10月16日(土) ~17日(日)	11月6日(土) ~7日(日)	11月13日(土) ~14日(日)
会場	鈴鹿サーキット	ツインリンクもてぎ	富士スピードウェイ	ツインリンクもてぎ	スポーツランドSUGO	オートポリス	鈴鹿サーキット	富士スピードウェイ
予選方式	ノックアウト	ノックアウト	ノックアウト	ノックアウト	ノックアウト	ノックアウト	ノックアウト	未定
決勝レース方式	220km	250km	200km	250km	230km	230km	2レース	100km ※2
タイヤ交換義務付け	あり	なし	なし	あり	なし	あり	なし	なし
備考	2&4レース エンジョイホンダ 併催 ※4		日曜日 予選・決勝方式	エンジョイホンダ 併催 ※4			優勝者 ボーナス (3ポイント ※3)	GTと併催

※1 「SUPER GT & Formula NIPPON FUJI SPRINT CUP 2010」

※2 100kmレースを土曜・日曜両日で各1レース実施する。予選形式は未定。

※3 最終戦鈴鹿大会は1レース2レース制により、予選ポール&2連勝で合計18ポイントを獲得することができる。

※4 エンジョイホンダとは、「見て」「遊んで」「体感できる」家族みんなでお楽しむイベントです。

【主な変化点】

■開幕戦鈴鹿にて2&4レースを実施。決勝は220kmレース。

■第3戦富士にて日曜日予選・決勝方式を実施。

■最終戦鈴鹿大会で2レース制を実施、優勝者にボーナスポイントあり。

■シリーズ後に、GT共催イベント「SUPER GT & Formula NIPPON FUJI SPRINT CUP 2010」を開催。

2010年フォーミュラ・ニッポンのみどころ ③

③最終戦に2レース制とポイントシステムの変更

年間を通じた努力が結果となって現れる最終戦。どのチームも良い結果を残す為、意気込みは相当なものであるはず。しかしメインはシリーズチャンピオン争い。例えシリーズチャンピオン争いが昨年と同じ展開になったとしても、この方式を採用することにより逆転の可能性を作り出し、激戦のメインテーマに躍り出る事は間違いありません。

		ポール ポジション	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位 以下
1大会 1レース		1	10	8	6	5	4	3	2	1	0
最終戦 1大会 2レース	第1レース	1	5+3	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0
	第2レース	1	5+3	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0

この様に昨年の新型マシンへの挑戦から、新たに加わる3つの変化への挑戦。

ドライバー、チームにはシリーズトップへの新しいハードルを。

ファンの皆様には、あらゆるレース形式を打破し、順応力・総合力を制した「ピュアスポーツの頂点」に立つドライバー、チームの姿を、年間を通じ途切れる事の無い緊張感と共に提供出来る事となるでしょう。

レース規則の変更点

フォーミュラ・ニッポン統一規則の主な変更点(黒太字下線部が変更点)

※2010年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン統一規則より抜粋

第11条 参加車両 5. 4) ④

決勝レーススタート後、次大会の公式車両検査までのエンジン交換:

次大会の決勝レースのグリッド位置を公式予選結果から10グリッド降格されるものとし、併せて当該大会において1回のエンジン交換を行なったものと見なされる。

ただし、当該大会の決勝レースにおいて、エンジン破損により本規則第40条2.1)に定める**ドライバーに対する得点を得ることができず**、且つ次大会においてエンジン交換を行なう車両は、この限りではない。

第24条 プラクティスセッション(公式予選等) 10.

各ドライバーのスターティンググリッドにおける位置を決定するため、公式予選中すべての周回を計時する。チェッカーフラッグが表示された後に計測された最終周回タイムは有効とする。2台以上の車両が同タイムの場合には、最初に記録した車両が優先される。

※「なお、公式予選中、黄旗提示から撤去に至るまでの間に当該区間を走行した車両のタイムは、公式予選結果として採用されない。」が削除されました。

第40条 得点の授与 2. 1) (4)

最終戦に限り、決勝レースで1位となったドライバーに対し下記3)得点基準に加え以下の通り得点を与える。

①**1大会1レース制の場合：3点**

②**1大会2レース制の場合：夫々に3点**

FN09 主要諸元

■エンジン

排気量	3,400cc	
出力	600/hp+ α	
気筒数	V型8気筒	バンク角90度
吸気	自然吸気	
重量	120kg	エアボックス、エアフィルター込み
回転数制限	10,700rpm	09年回転数制限はオーバーテイクシステム作動時
回転数制限方式	ECU	

■シャシー

	FN09 (スウィフト社製)	備考
全長	4,775mm	
ホイールベース	3,000mm	
車両最大幅	2,000mm	車両中心線からタイヤ外側までの実測1,000mm以内
車体最大幅	1,600mm	ウイングを除く、ボディワークの最大幅
フロントウイング幅	1,800mm	
リアウイング幅	1,220mm	
燃料タンク容量	115リットル	車体サイドに設ける給油口から給油可能な最大値
ギアボックス	リカルド社製6速	
	パドルシフト	
ブレーキ	PFC社製6ピストン	

■タイヤ

	ブリヂストン	備考
フロントタイヤ	235/55R13	
リアタイヤ	340/620×13	

2010年エントリーリスト

[2010年3月7日現在]

チーム	No.	ドライバー	年齢	出身地	エンジン
DOCOMO TEAM DANDELION RACING 監督：村岡 潔	1	ロイック・デュバル Loic Duval	27	フランス	HONDA HR10E
	2	伊沢 拓也 Takuya Izawa	25	日本／東京都	
Team LeMans 監督：土沼 廣芳	7	ケイ・コッツォリーノ Kei Cozzolino	22	イタリア	TOYOTA RV8K
	8	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	28	日本／東京都	
HFDP RACING 監督：田中 弘	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	23	日本／栃木県	HONDA HR10E
MOTUL TEAM 無限 監督：手塚 長孝	16	井出 有治 Yuji Ide	35	日本／埼玉県	HONDA HR10E
KCMG 監督：土居 隆二	18	平中 克幸 Katsuyuki Hiranaka	28	日本／北海道	TOYOTA RV8K
TEAM IMPUL 監督：星野 一義	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	28	ブラジル	TOYOTA RV8K
	20	平手 晃平 Kohei Hirate	23	日本／愛知県	
DELIZIEFOLLIE/ CERUMO・INGING 監督：ト部 治久	29	井口 卓人 Takuto Iguchi	22	日本／福岡県	TOYOTA RV8K
NAKAJIMA RACING 監督：中嶋 悟	31	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	21	日本／栃木県	HONDA HR10E
	32	小暮 卓史 Takashi Kogure	29	日本／群馬県	
PETRONAS TEAM TOM'S 監督：舘 信秀	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	28	ドイツ	TOYOTA RV8K
	37	大嶋 和也 Kazuya Oshima	22	日本／群馬県	

ホンダエンジン使用チーム：4チーム6台
トヨタエンジン使用チーム：5チーム8台
全車ブリヂストン製タイヤを使用

ドライバープロフィール ①

1 ロイック・デュバル

Loic Duval

DOCOMO TEAM
DANDELION RACING

生年月日 1982年6月12日
出身地 フランス
身長 178cm
体重 70kg
血液型 O型



2003 フランス選手権フォーミュラ・ルノー チャンピオン
2004 ヨーロッパ選手権ユーロF3 11位
2005 ヨーロッパ選手権ユーロF3 6位
F3マカオGP 6位(PP)
GP2テスト(Castellet) A1GPテスト(Silverstone)
2006 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン参戦 シリーズ4位
SUPER GT(GT500クラス)参戦
2007 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン参戦 シリーズ6位
SUPER GT(GT500クラス)に参戦 シリーズ2位
2008 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン参戦 シリーズ2位
SUPER GT(GT500クラス)参戦
2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン参戦 シリーズチャンピオン
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ16位

2 伊沢 拓也

Takuya Izawa

DOCOMO TEAM
DANDELION RACING

生年月日 1984年6月1日
出身地 東京都
身長 168cm
体重 59kg
血液型 B型



2003 フォーミュラ・ルノー ドイツシリーズ シリーズ7位
2004 フォーミュラ・ドリーム シリーズ3位
フォーミュラ・ルノー ドイツ選手権スプリント参戦9位
2005 フォーミュラ・ドリーム シリーズ4位
2006 全日本F3選手権 シリーズ6位
スーパー耐久十勝24時間レースクラス優勝
2007 全日本F3選手権 シリーズ6位
マカオF3 16位
スーパー耐久十勝24時間レースクラス優勝
2008 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ10位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ8位
2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ8位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ2位

7 ケイ・コッツォリーノ

Kei Cozzolino

Team LeMans

生年月日 1987年11月9日
出身地 イタリア
身長 176.5cm
体重 70kg
血液型 O型



1999 9歳で、カートレースデビュー
2003 全イタリアオープンカート選手権 参戦
2005 シルバーストン レーシングスクール参加
Formula Medicine(フォーミュラ メディシン)で
F1ドライバーズトレーニングに参加
2007 エッソフォーミュラトヨタ シリーズチャンピオン
フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ9位
2008 TDP スカラシップ獲得
全日本F3選手権 シリーズ6位
第55回マカオグランプリ参戦
2009 全日本F3選手権 シリーズ4位

8 石浦 宏明

Hiroaki Ishiura

Team LeMans

生年月日 1981年4月23日
出身地 東京都
身長 178cm
体重 70kg
血液型 AB型



2003 フォーミュラトヨタ シリーズ4位
2004 フォーミュラトヨタ シリーズ6位
2005 フォーミュラトヨタ シリーズ3位
GC-21 シリーズチャンピオン
2006 全日本F3選手権 シリーズ9位
2007 全日本F3選手権 シリーズ4位
SUPER GT(GT300クラス) シリーズチャンピオン
2008 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ16位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ15位
2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ9位

10 塚越 広大

Koudai Tsukakoshi

HFDP RACING

生年月日 1986年11月20日
出身地 栃木県
身長 172cm
体重 65kg
血液型 AB型



2003 全日本カート選手権FSAクラス シリーズチャンピオン
2004 フォーミュラ・ドリーム(4戦3勝 年間最多勝) シリーズ5位
F4西日本シリーズ チャンピオン
鈴鹿レーシングスクール・フォーミュラ 首席卒業
2005 フォーミュラ・ドリーム(全戦優勝) シリーズチャンピオン
全日本F3選手権参戦
2006 全日本F3選手権 シリーズ5位
2007 全日本F3選手権 シリーズ5位
第54回マカオグランプリ 2位
2008 ユーロF3選手権参戦 シリーズ7位
2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ7位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ5位
ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得

ドライバープロフィール ②

16 井出 有治
Yuji Ide

MOTUL TEAM 無限

生年月日 1975年1月21日
出身地 埼玉県
身長 177cm
体重 69kg
血液型 AB型



2000年 全日本F3選手権 シリーズ2位
2001年 全日本F3選手権 シリーズ5位
全日本GT選手権 300クラス シリーズ4位
2002 フランスFormula 3選手権 シリーズ7位
2003 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ7位
全日本GT選手権 500クラス シリーズ4位
2004 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ3位
全日本GT選手権 500クラス シリーズ11位
2005 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ2位
2006 Formula 1 参戦(SUPER AGURI Formula 1 TEAM)
2007 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ13位
2008 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ11位
2009 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ13位

18 平中 克幸
Katsuyuki Hiranaka

KCMG

生年月日 1981年10月4日
出身地 北海道
身長 176cm
体重 66kg
血液型



2003 F3 Euro Series 参戦 マカオグランプリ 3位
2004 F3 Euro Series 参戦
TOYOTA F1 (TF104)のテストドライブを努める
2005 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ13位
SUPER GT(GT300クラス) シリーズ15位
2006 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 参戦
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ23位
2007 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 参戦
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ15位
2008 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 参戦
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ10位
2009 SUPER GT(GT300クラス) シリーズ3位
スーパー耐久 ST-3クラス シリーズチャンピオン

19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ
Joao Paulo de Oliveira

TEAM IMPUL

生年月日 1981年7月13日
出身地 ブラジル
身長 173cm
体重 66kg
血液型 A型



2001 ドイツF3選手権 シリーズ7位
2002 ドイツF3選手権 シリーズスポット参戦
2003 ドイツF3選手権 シリーズチャンピオン
2004 全日本F3選手権 シリーズ2位
2005 全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
2006 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ15位
2007 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ8位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ10位
2008 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ14位
2009 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ8位

20 平手 晃平
Kohei Hirate

TEAM IMPUL

生年月日 1986年3月24日
出身地 愛知県
身長 171cm
体重 63kg
血液型 O型



2003 イタリア・フォーミュラルノー シリーズ8位
2004 イタリア・フォーミュラルノー シリーズ2位
F3ユーロシリーズ・スポット参戦
2005 F3ユーロシリーズ シリーズ12位
F3マカオ 15位
2006 F3ユーロシリーズ シリーズ3位
F3マカオ 27位
2007 GP2シリーズ シリーズ19位
2008 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ4位
ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得
SUPER GT(GT300クラス) シリーズ15位
2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ14位

29 井口 卓人
Takuto Iguchi

DELIZIEFOLLIE/
CERUMO・INGING

生年月日 1988年2月13日
出身地 福岡県
身長 166cm
体重 60kg
血液型 A型



2005 全日本カート競技選手権FAクラス チャンピオン
アジアパシフィック選手権ICAクラス3位
2006 フォーミュラトヨタ シリーズ6位
フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ10位
2007 フォーミュラトヨタ シリーズ3位
フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ6位
2008 全日本F3選手権 シリーズ3位
SUPER GT(GT300クラス) シリーズ32位
2009 全日本F3選手権 シリーズ2位
第56回マカオグランプリ 6位
SUPER GT(GT300クラス) シリーズ10位

ドライバープロフィール ③

31 山本 尚貴
Naoki Yamamoto

NAKAJIMA RACING

生年月日 1988年7月11日
出身地 栃木県
身長 164cm
体重 63kg
血液型 B型



- 2004 FIK イタリアン オープン マスターズFAクラス シリーズ29位
CIK-FIA アジアパシフィック選手権ICAクラス 6位
- 2005 FIK イタリアン オープン マスターズFAクラス シリーズ5位
CIK-FIA 世界カート選手権FAクラス・ポルトガル大会12位
- 2006 SRS-F(鈴鹿サーキットレーシングスクールフォーミュラ)
- 2007 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位
- 2008 全日本F3選手権 シリーズ5位
- 2009 全日本F3選手権Nクラス シリーズチャンピオン

32 小暮 卓史
Takashi Kogure

NAKAJIMA RACING

生年月日 1980年8月1日
出身地 群馬県
身長 176cm
体重 65kg
血液型 B型



- 2002 全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
- 2003 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ10位
- 2004 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ7位
- 2005 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ10位
- 2006 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ12位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ3位
- 2007 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ3位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ4位
- 2008 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ6位
- 2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ4位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ6位

36 アンドレ・ロッテラー
Andre Lotterer

TEAM TOM'S

生年月日 1981年11月19日
出身地 ドイツ
身長 184cm
体重 76kg
血液型 A型



- 2003 全日本フォーミュラ・ニッポン選手権参戦 シリーズ5位
- 2004 全日本フォーミュラ・ニッポン選手権参戦 シリーズ2位
全日本GT選手権参戦 シリーズ8位
- 2005 全日本フォーミュラ・ニッポン選手権参戦 シリーズ4位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ9位
- 2006 全日本フォーミュラ・ニッポン選手権参戦 シリーズ3位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズチャンピオン
- 2007 全日本フォーミュラ・ニッポン選手権参戦 シリーズ5位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ6位
- 2008 全日本フォーミュラ・ニッポン選手権参戦 シリーズ3位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ3位
- 2009 全日本フォーミュラ・ニッポン選手権参戦 シリーズ3位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズチャンピオン

37 大嶋 和也
Kazuya Oshima

TEAM TOM'S

生年月日 1987年4月30日
出身地 群馬県
身長 170cm
体重 62kg
血液型 A型



- 2002 全日本カート競技選手権FSAクラス 参戦
- 2003 FTRS育成プログラム
- 2004 ESSOフォーミュラトヨタ シリーズ2位
- 2005 ESSOフォーミュラトヨタ シリーズチャンピオン
- 2006 全日本F3選手権 シリーズ2位
SUPER GT(GT300クラス) シリーズ15位
- 2007 全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
SUPER GT(GT300クラス) シリーズチャンピオン
第54回マカオグランプリ 3位
- 2008 ユーロF3選手権参戦 シリーズ19位
第55回マカオグランプリ 15位
- 2008 全日本フォーミュラ・ニッポン選手権参戦 シリーズ9位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ9位

レースカレンダー

■大会

ラウンド	開催サーキット	日程
第1戦	鈴鹿サーキット	4月17日(土)~18日(日)
第2戦	ツインリンクもてぎ	5月22日(土)~23日(日)
第3戦	富士スピードウェイ	7月17日(土)~18日(日)
第4戦	ツインリンクもてぎ	8月7日(土)~8日(日)
第5戦	スポーツランドSUGO	9月25日(土)~26日(日)
第6戦	オートポリス	10月16日(土)~17日(日)
第7戦	鈴鹿サーキット	11月6日(土)~7日(日)
FSC ※1	富士スピードウェイ	11月13日(土)~14日(日)

※1 [SUPER GT & Formula NIPPON FUJI SPRINT CUP 2010]

■公式合同テスト

	開催サーキット	日程
第1回	鈴鹿サーキット	3月8日(月)~9日(火)
第2回	富士スピードウェイ	3月25日(木)~26日(金)
第3回	富士スピードウェイ	11月29日(月)~30日(火)

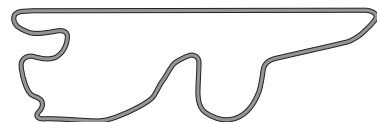
鈴鹿サーキット

第1戦 4月17日(土)・18日(日) / 第7戦 11月6日(土)・7日(日)
所在地 〒510-0295 三重鈴鹿市稲生町7992
問い合わせ先 鈴鹿サーキット Tel.059-378-1111(代表)
URL www.suzukacircuit.jp



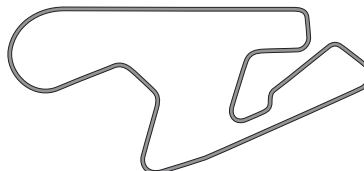
富士スピードウェイ

第3戦 7月17日(土)・18日(日) / FSC※1 11月13日(土)・14日(日)
所在地 〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向694
問い合わせ先 富士スピードウェイ本社 Tel.0550-78-1234(代表)
富士スピードウェイ東京営業所 Tel.03-3556-8511(代表)
URL www.fujispeedway.co.jp



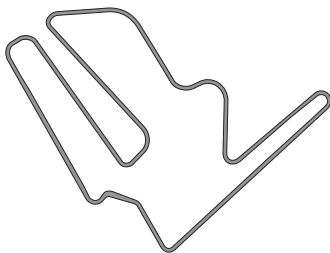
スポーツランドSUGO

第5戦 9月25日(土)・26日(日)
所在地 〒989-1394 宮城県柴田郡村田町菅生6-1
問い合わせ先 スポーツランドSUGO Tel.0224-83-3111(代表)
URL www.sportsland-sugo.co.jp



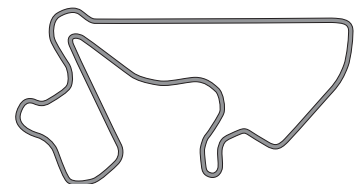
ツインリンクもてぎ

第2戦 5月22日(土)・23日(日) / 第4戦 8月7日(土)・8日(日)
所在地 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1
問い合わせ先 ツインリンクもてぎ Tel.0285-64-0001(代表)
URL www.twinning.jp



オートポリス

第6戦 10月16日(土)・17日(日)
所在地 〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田1112-8
問い合わせ先 オートポリス Tel.0973-55-1111(代表)
URL www.autopolis.jp



Series Partner

HONDA

TOYOTA

Series Supporter

ニッキイチ
NINKI-ICHI
人気酒造

シリーズパドックパス

■販売価格

- ・70,000円(税込)
- ・80,000円(全戦特別駐車券1枚付き、税込)

■パス内容

- 1.2010年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン全7戦および
SUPER GT & Formula NIPPON FUJI SPRINT CUP 2010への入場
 - 2.パドックエリアへの入場
 - 3.ピットウォーク、決勝前グリッドへの入場
 - 4.グランドスタンドでの観戦
 - *富士スピードウェイ：一部有料エリアは別途料金
 - *鈴鹿サーキット、ツインリンクもてぎ：チームサポーターズシートは別途料金
 - 5.公式合同テストへの入場
 - 6.シーズンエンドパーティーおよびシリーズ表彰式への参加
 - 7.日本レースプロモーション(JRP)主催イベントへの参加
 - 8.オリジナル記念品のプレゼント
- ※鈴鹿サーキットでは激観エリアにご入場いただけます。
※グリッド上の安全管理の観点から、ご購入時点で16歳以上のお客様に限らせていただきます。

■今シーズンからの新規特典

- 1.土曜日全日程終了後にピット見学ツアー実施(抽選で最大10名)
- 2.優勝ドライバーまたはポールポジションドライバーへの花束贈呈(抽選で毎戦1名)
- 3.毎戦特別駐車券1枚付き(※80,000円パスのみ)
 - ・スポーツランドSUGO：SP広場／ツインリンクもてぎ：第4パドックもしくはスーパースピードウェイ／
 - ・富士スピードウェイ：P18(予定)／鈴鹿サーキット：交通教育センター内専用駐車場／
 - ・オートポリス：関係者駐車場
- 4.毎戦プログラムプレゼント
- 5.毎戦ドライバーサイン入りグッズプレゼント

■申込方法

申込用紙に必要事項をご記入いただき、証明写真2枚(カラー／2.4cm×3cm)及びパス代金を同封の上、現金書留にてご郵送下さい。

【あて先】

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25

株式会社日本レースプロモーション シリーズパドックパス係

- 写真は必ず証明写真でお願い致します。プリント写真等では、色が鮮明に出ません。
- お申込みの際、送料はお客様のご負担となりますので何卒ご了承下さい。

■パスのお届け

シリーズパドックパスのお届けは、料金のお支払い確認後に発送致します。

■お申込受付期間

2010年3月8日より順次受付開始

- *シリーズ途中でもお申込み頂けます。ただし、シリーズ途中のお申込につきましては、料金割引はございませんので、予めご了承の上お申し込み下さい。

2010年 シリーズパートナー／シリーズサポーター

Series Partner

HONDA

本田技研工業株式会社
<http://www.honda.co.jp/>

TOYOTA

トヨタ自動車株式会社
<http://www.toyota.co.jp/>

Series Supporter

 **NINKI-ICHI**
人気酒造

人気酒造株式会社
<http://www.ninki.co.jp/>

●本リリースに関するお問い合わせ先
株式会社日本レースプロモーション 広報:担当石原
東京都千代田区九段南2-3-25 〒102-0074
Tel : 03-3237-0131 Fax : 03-3237-0135